

中央市議会だより



実り豊かな
生活文化都市

<http://www.city.chuo.yamanashi.jp>

No.32

平成26年3月1日発行

今年は午年だ
ウツくとぶあー!



田富小学校

3月定例会の予定……P17

12月定例会で決まったこと……P2
審議結果……………P8
市長の行政報告……………P9
一般質問に7議員……………P10
委員会レポート……………P13
市民の談話室・編集後記……P18

支援事業費を予算化！

12月定例会が12月10日から20日までの11日間の会期で開催されました。条例制定5件、条例改正2件、補正予算9件、請願4件、その他2件が提案されました。また、最終日には意見書3件が追加提案されました。

特別会計・企業会計補正予算

会 計 名	補 正 額	総 額
国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	6,778万8千円	32億2,926万1千円
後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	563万8千円	2億296万円
介護保険特別会計補正予算(第3号)	70万3千円	17億3,077万1千円
地域包括支援センター特別会計補正予算(第3号)	歳入財源の組替え	2,706万6千円
簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	137万6千円	2億3,205万3千円
下水道事業特別会計補正予算(第3号)	歳入財源の組替え	13億5,306万6千円
農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	130万9千円	2億6,836万6千円
上水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収入 300万円	2億6,442万3千円
	収益的支出 434万円	2億3,361万2千円
	資本的収入 146万3千円	2億1,096万3千円

反対討論

国民健康保険特別会計補正予算
一般会計繰出金として5千万円が計上されている。平成21年度の貸付返済ということだが、国保税の負担は市民に非常に重いものとなっており、払いたくても払えない世帯が増えている。市としてやるべきは、一般会計から国保会計への法定外繰入も含め、市民の負担軽減に努めるべき。

また、繰出金の財源として国保財政調整基金から繰入を行っているが、基金は市民の負担軽減や国保会計安定のために使うべき。



災害時救急医療セット

新たに子ども・子育て

平成25年度 一般会計補正予算(第4号)

1億904万1千円を追加 **総額117億1,022万4千円に**

おもな補正予算

歳入

安心子ども基金事業費補助金（子ども・子育て支援事業）	350万円
安心こども基金保育サービス等充実事業費補助金	438万5千円
安心こども基金事業費補助金（保育士等処遇改善事業）	360万2千円
地域医療救護体制整備事業補助金	828万円
医大南部区画整理地内分譲地売買代金	3,005万7千円
高額療養費・医療保険支給分（重度心身障害者医療費）	1,510万円

歳出

田富庁舎維持管理事業（議場改修工事）	602万1千円
重度心身障害者医療費助成事業	1,768万1千円
保育園施設整備事業（玉穂保育園）	1,600万円
地域医療救護体制整備事業（備品購入費）	831万8千円
土地改良施設等基盤整備事業（県営湛水防除負担金）	1,425万円
甲府地区広域行政事務組合消防事業負担金	386万4千円
市道1023・4042号線改良事業	570万円
田富中学校施設整備費（手すり等工事）	332万9千円



改修予定の議場

反対討論

一般会計補正予算

国民健康保険特別会計繰入金として5千万円が計上されている。平成21年度の貸付返済ということだが、国保税の負担は市民に非常に重いものとなっており、払いたくても払えない世帯が増えている。市としてやるべきは、一般会計から国保会計への法定外繰入も含め、市民の負担軽減に努めるべき。

条例制定

中央市行政組織条例

施行期日 平成26年4月1日

簡素で効率的な組織体制を目指し、部制等を廃止することにより現にある中央市行政組織条例を廃止し、同条例名により新規制定する。

【おもな内容】

- ・部制の廃止 ・危機管理室を危機管理課に格上げ
- ・情報政策に関すること（総務課→政策秘書課）
- ・交通安全に関すること（総務課→危機管理課）
- ・開発行為および建設指導に関すること（建設課→都市計画課）

行政組織機構の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例

施行期日 平成26年4月1日

行政組織機構の見直しに伴い関係条例の整理に関する条例として制定する。

【おもな内容】

行政組織機構の見直しに伴い関係条例の所要の改正

延滞金の割合等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例

施行期日 平成26年1月1日

地方税法の改正に伴い市税にかかる延滞金の割合を見直したことから、これに準じ市税以外の市納付金に係る延滞金の割合等について改正するため市の条例として制定する。

【おもな内容】

- ・税外収入金、市営住宅家賃
年14.6%→特例基準割合+7.3%（納期限後1月以内7.3%→特例基準割合+1%）
- ・介護保険料
年14.6%→特例基準割合+7.3%（納期限後3月以内7.3%→特例基準割合+1%）
- ・下水道受益者負担金
年14.5%→特例基準割合+7.25%（納期限後1月以内7.25%→特例基準割合+1%）
延滞金の割合については、都市計画法75条第4項の規定による。
- ・後期高齢者医療
年7.3%→特例基準割合+1%
- ・延滞金計算等
延滞金を徴収する要件として納付金額が2,000円以上の場合とし、延滞金の額の端数計算として100円未満を切り捨てることとし、その額が1,000円未満の場合は徴収しないこととする。

税外収入金とは
分担金、使用料、加入金、
手数料及び過料その他公
法上の市税外収入金

消費税率及び地方消費税率の引き上げに伴う関係条例の整理に関する条例

施行期日 平成26年4月1日

消費税法の一部を改正する等の法律および地方税法ならびに地方交付税法の一部を改正する法律の規定により、消費税率が引き上げられることから、関係条例の整理に関する条例として制定する。

【おもな内容】

消費税率が平成26年4月1日から8%に引き上げられることから、消費税等の課税対象となる各種料金等について、消費税等相当額の引き上げを行う。

中央市子ども・子育て会議条例

施行期日 公布の日から施行する。

子ども・子育て支援法第77条第1項の規定する市町村等における合議制の機関「中央市子ども・子育て会議」の設置条例として制定する。

【おもな内容】

子ども・子育て関連3法の改正に基づく市町村等における合議制の機関「中央市子ども・子育て会議」の設置について市条例に定める。

条例改正

中央市ひとり親家庭医療費助成金支給条例中改正

施行期日 平成26年1月3日

配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律の一部改正により、法の題名改称が行われたことに対する引用箇所を改正する。

【おもな内容】

配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律



配偶者からの暴力の防止および被害者の保護等に関する法律

中央市道路占用料徴収条例中改正の件

施行期日 平成26年1月1日

ただし、消費税にかかわる部分は平成26年4月1日から施行する

地方税法の改正に伴う改正

道路法施行令の改正に伴う改正

消費税法の改正に伴う改正

【おもな内容】

延滞金の割合について、年14.5% → 特例基準割合+7.25%

(納期限後1月以内7.25% → 特例基準割合+1%)

道路法施行令の一部改正により、太陽光発電設備等および津波避難施設は、道路の占用許可対象物件となり、第7条第2号以降は繰り下げられたため、道路法施行令の引用箇所の改正を行う。消費税率が平成26年4月1日から8%に引き上げられることから、消費税等の課税対象となる各種料金等について、消費税等相当額の引き上げを行う。



第1回子ども・子育て会議

特定基準割合とは

当該年の前年に租税特別措置法第93条第2項の規定により告示された割合（現在1%）に年1%の割合を加算した割合。

反対討論

消費税および地方消費税率の引き上げに伴う関係条例の整備に関する条例制定

国は増税で景気が悪くなるとして、法人税減税などに加え、国債を発行し公共事業に5.5兆円の経済対策を補正した。この事実だけでも財政再建という消費税増税の口実は破綻している。

消費税増税は、社会保障の充実と財政再建を両立させるとのことだが、年金切り下げ、医療・介護の負担増で国民の暮らしは一層困難となる。

このような社会状況での消費税増税は、消費が冷え込み、景気をますます悪化させるだけで消費税増税は中止しかない。こうした中、公共料金の引き上げは物価高騰の引き金になる。負担する市民の生活を考えると、消費税増税を反映しないことが必要と考える。

請願審査・意見書の提出

山梨県に対して、「重度心身障害者医療費助成制度」の窓口無料の維持を求める意見書を提出することを求める請願

- ・ 請願者
重度心身障害者医療費助成制度を守る会
宇藤健司 北嶋恒男 土屋 始 三浦雅子
- ・ 紹介議員 木下友貴
- ・ 審議結果 不採択

(不採択とした理由)

本年6月定例会において、窓口無料化方式から自動償還方式へ変更する内容の「重度心身障害者医療費助成条例」の改正を、すでに議決しているため、不採択とすべきとの意見があり、採決の結果、不採択とすべきものと決定した。

討 論

山梨県は窓口無料化を廃止し、自動還付方式に変更するとしている。自動還付方式では約3カ月経たないとお金が戻らないため、低収入・無収入の人が多い障がい者に、さらなる負担を押し付けることになる。医療費上昇を抑えるためのペナルティこそ廃止すべきであり、制度をこのまま維持すべき。

取調べの可視化(取調べの全過程の録画)の速やかな実現を求める請願 採択

- ・ 請願者
山梨県弁護士会 会長 東条正人
- ・ 紹介議員 田中一臣 名執義高
- ・ 審議結果 採択(全会一致)

取調べの可視化(取調べの全過程の録画)の速やかな実現を求める意見書

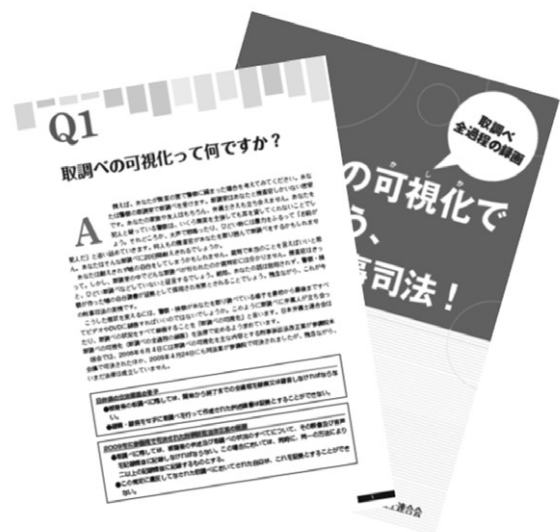
[12月20日可決 議会から国へ提出]

- ・ 提出議員 河西 茂
- ・ 賛成議員 田中輝美 福田清美
- ・ 要旨

取調べの可視化は、密室での取調べに伴って、発生しやすい捜査官の暴行・脅迫・利益誘導などによる自白強要を予防する効果が認められ、現在も後を絶たないえん罪の防止にも不可欠なものであり、現在の捜査官が任意に行う一部のみの録画では、公正さを欠く恣意的な運用であるとの非難を免れない状況にある。

すでに裁判員裁判が実施されて3年以上を経過していることを鑑みても、取調べの全過程の録画を速やかに開始し、取調べの可視化を実現するよう意見書を提出するもの。

- ・ 提出先 衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 法務大臣



可視化についてのパンフレット

新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書の採択を求める請願

採択

- ・請願者
山日会 会長 渡辺正志
山静信越産経会山梨県地区会 会長 丸山康夫
山梨県朝日会 会長 古屋澄夫
山梨県日経会 会長 古屋澄夫
山梨県毎日会 会長 三枝久人
山梨県読売会 会長 藤本恭助
山梨県新聞販売商業協同組合 理事長 赤坂征幸
- ・紹介議員 小沢 治
- ・審議結果 採択

討 論

本請願は消費税増税を前提としており、かつ「景気回復に向けた経済政策」として消費税増税を評価しているため、賛同できない。

新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書

〔12月20日可決 議会から国へ提出〕

- ・提出議員 河西 茂
- ・賛成議員 田中輝美 山村 一
- ・要旨

新聞はさまざまなニュースや情報を伝え、多角的な意見や評論を提供している。近年は文字離れや活字離れによるリテラシーの低下が問題となっており、国力の低下や国際競争力の減退につながる恐れがあります。

現在、日本政府は景気回復に向けた経済政策を展開し、消費税増税も予定している。欧州各国では新聞などには民主主義を支える公共財として、ゼロ税率や軽減税率を適用し、消費者負担を軽くしている。消費税増税は家計を圧迫し、新聞の購読中止を招くことが懸念され、リテラシーの低下に拍車がかかり、社会不安を招きます。政府は課税品目に例外をつくることに慎重だが、品目ごとに複数税率が導入されている国は少なくありません。複数税率の導入と、新聞への軽減税率を適用するよう、意見書を提出するもの。

- ・提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣

国民健康保険の財源である定率国庫負担金及び調整交付金の減額調整(ペナルティ)廃止に関する請願

採択

- ・請願者
中央市身体障害者福祉会 会長 馬場正江
中央市聴覚障害者協会 会長 秋山隆晴
- ・紹介議員 福田清美 名執義高
- ・審議結果 採択(全会一致)

国民健康保険の財源である定率国庫負担金及び調整交付金の減額調整(ペナルティ)廃止に関する意見書

〔12月20日可決 議会から国へ提出〕

- ・提出議員 井口 貢
- ・賛成議員 設楽愛子 田中一臣
- ・要旨

山梨県では平成20年4月から利用者の利便性向上を図るため、障がい児者に対する医療費の窓口無料化を開始し、現在に至っているが、国では、医療費助成制度の現物給付は、安易な受診の助長につながるの理由から実施している地方自治体に対し、ペナルティとして国民健康保険の国庫負担金の減額措置を講じている。しかし、窓口無料化は障がい者にとって医療費助成の申請手続きが不要であるとともに、急病時にも安心して医療機関の受診ができるため、早期治療や傷病の早期発見が可能となっている。また、障がい者の自立と社会参加の促進は、大きな課題であり、基礎条件となる重度心身障がい児者の健康を保持、増進するための医療費助成について、拡充強化を図っていく必要があります。したがって、窓口無料化に対する国民健康保険国庫負担金等を削減するペナルティを廃止するよう、意見書を提出するもの。

- ・提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣

平成25年12月定例会審議結果

○賛成 ●反対（伊藤公夫議長を除く）

種 別	案件名	議長	副議長	中央フォーラム						市民クラブ		公明党		日本共産党	無所属		結 果	
		伊藤公夫	小沢治	田中一臣	福田清美	田中健夫	名執義高	河西茂	小池章治	山村一	井口貢	小池満男	設楽愛子	田中輝美	木下友貴	大沼芳樹		保坂武
条例改正制定	・ 中央市行政組織条例制定の件																	可決
	・ 行政組織機構の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例制定の件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 延滞金の割合等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定の件																	
	・ 消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例制定の件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
	・ 中央市子ども・子育て会議条例制定の件																	可決
	・ 中央市ひとり親家庭医療費助成金支給条例中改正の件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 中央市道路占用料徴収条例中改正の件																	
平成25年度補正予算	・ 一般会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
	・ 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)																	可決
	・ 後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)																	
	・ 介護保険特別会計補正予算(第3号)																	
	・ 地域包括支援センター特別会計補正予算(第3号)																	
	・ 簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 下水道事業特別会計補正予算(第3号)																	
	・ 農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)																	
	・ 上水道事業会計補正予算(第2号)																	
組合規約の変更及び財産処分	・ 青木が原ごみ処理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更の件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・ 中央市の脱退に伴う青木が原ごみ処理組合の財産処分の件																	
請願審査	・ 山梨県に対して、「重度心身障害者医療費助成制度」の窓口無料の維持を求める意見書を提出することを求める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	不採択
	・ 取調べの可視化(取調べの全過程の録画)の速やかな実現を求める請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	・ 新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書の採択を求める請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	採択
	・ 国民健康保険の財源である定率国庫負担金及び調整交付金の減額調整(ペナルティ)廃止に関する請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見書	・ 取調べの可視化(取調べの全過程の録画)の速やかな実現を求める意見書(案)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・ 新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書(案)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
	・ 国民健康保険の財源である定率国庫負担金及び調整交付金の減額調整(ペナルティ)廃止に関する意見書(案)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

行政組織を見直し 積極的な行財政改革に 取り組みます

12月
定例会

市長の

行政報告

中央市長 田中久雄

各施策の進捗状況

行政組織の見直し

新たな行政課題や多様化する市民ニーズに、迅速かつ柔軟に対応でき、最小の経費で最大の効果を挙げるため、人口規模、組織規模に見合った組織となるよう、組織のフラット化、部制の廃止等について協議・検討を重ねた結果、執行体制の簡素化と意思決定・事務処理の迅速化を図り、より効率的な市民サービスを提供するため、来年度から部制を廃止することになりました。

税等収納率向上対策

12月を滞納整理強化月間と定め、担当課職員による「対策推進本部」を設置し、市役所全職員で臨戸訪問を行います。訪問期間中は、諸事情等で税等を払いたくとも払えない方の納付相談窓口を、平日は夜間8時まで、土日は午前9時から午後5時まで開設します。

中央市景観計画

平成24年度に風景づくり市民懇談会より「中央市桜の里づくりプロジェクト」の市民プランの提言をいただきました。本



桜の里づくりプロジェクトで植樹
(千本桜駐車場)

年度は、景観計画策定委員会を設置し、景観形成の方針、形成地区の設定や、建築行為等の届出の必要な規模、制限基準の協議をしていただいています。平成27年度には実効ある景観形成のため、制度の適用をしていく考えです。

リニア中央新幹線関係

駅の位置や詳細なルートが示され、新山梨環状道路北側の成島地内に保守基地、公共施設では田富北小学校校舎がルート上に位置する計画であることが公表されました。今後、JR東海に対し市

民への積極的な分かりやすい情報公開を行ってもらえるよう要請していきます。

リニア駅周辺整備 検討委員会

リニア駅北側の中央自動車道に、スマートインターチェンジを設置する方針が示されました。駅周辺地区の範囲を、南北は中央自動車道と新山梨環状道路間をエリアとし、東西は駅の施設、規模等が確定したところで決定する方針で、駅周辺のまちづくりについて議論が交わされました。

中央市リニア 活用推進懇話会

懇話会で出た意見等について、必要に応じて関係機関へ要望活動等を行い、市のリニア効果を生かしたまちづくりにしっかりと反映し、その実現に向けた取り組みを着実に進めていきたいと考えています。

消費税増税に伴う 本市財政への影響は

安定した健全財政を目指す

小池 章治 議員



設の使用料、国・県支出金のうち建設事業にかかわるもの等約8千5百万円、0・7%の増。歳出は、物件費、維持補修費、補助金等約9千6百万円、0・8%の増の見込み。予算編成にあたり、各部署には安易に増額要求せず精査すること、適正な消費税の転嫁等を指示している。

小池議員 来年4月から8%になる消費税の本市の財政、一般会計、特別会計への影響と、各部署の対応を伺う。

消費税増税に伴う公共料金の見直しは。課税対象ではない各種手数料や学校給食費、保育料の扱いは。

市長 24年度決算を基に試算を行った。歳入は、地方消費税交付金や学校給食費の負担金、公共施設

使用料等への適正転化の条例改定案を上程した。国は地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改定の要否を検討している。動向に注視する。保育料は26年度分を見直す予定はない。

教育長 給食費は食材費の高騰に対応し、26年4月からの最小限の値上げを決定した。

小池議員 田中市政2期8年の自己評価、総括は。次期市長選挙への出馬に対する考えと決意は。

は、計画中を含め実行できたと思っている。中央市の未来に向かつて、ここから数年が最も大切な時期と認識してお

かんがい用水の新たな定置配管 設置と地域給水栓の使用状況は 土地改良区と協議して 新たな設置と利用は可能

福田 清美 議員

福田議員 本年は、猛暑と少雨が続き、農作業における水やりには苦労した。笛吹川畑地かんがい排水事業の完成から、10年以上が経過した。新たな対応が望まれている。

畑地かんがい用水の定置配管の新設は。地域給水栓の現状は。耕作放棄地の現状と要因は。

小池議員 田中市政2期8年の自己評価、総括は。次期市長選挙への出馬に対する考えと決意は。

り、少子高齢化対策、農業、商工業の振興、防災対策等の一層の充実が責務と考え、出馬の決意をした。

穂は、平坦で管理しやすいため少ない。雑草繁茂の確認時に通知し、草刈等で解消している。公告・勧告までに行っていない。毎年、11月にバトリールを実施し、現状確認、営農推進などに向け地道に努力している。

23年度、田富地区で遊休ハウス1、400平方メートルを解消。県事業として、浅利地区は8、705平方メートルを解消、桃と酒造用ぶどう栽培が行われている。シルクの里振興公社は、678平方メートルを借り入れ耕作している。

認定農業者の27年度目標146人、25年度認定は136人、達成率は93・15%。

24年、シルクの里振興公社とJAふえふきが、農地利用集積円滑化団体になった。利用権設定は24年度93件、今年度は11月25日現在35件。

農政観光部長 土地改良区と協議し、工事費を自己負担して定置配管を利用できる。

23年度、地域給水栓の加入は75・9%で、24年度に2・7%減少した。

24年度、市全体の耕作放棄地は109・8%、田富2・9%、玉穂6・9%、豊富100%。高齢化が主要因。田富・玉

▼名執義高議員



図上訓練の様子

河西議員 自主財源が増える要素は少なく、国からの交付金および地方交付税の縮減傾向がつづく中、今以上の財政改革が望まれる。

Q

26年度の予算編成は

A

支出を精査し
増収に努める

河西 茂 議員

予算編成で重点配分する事業、縮小する事業は新たな自主財源確保の施策は。

経常収支比率向上の施策は。

市長 太陽光発電パネルの設置場所として、公共施設の屋根貸しを考えている。中央市南部土地区画整理事業から引き継いだ、環状線沿いの2、872平方メートルの貸地活用等も検討している。総務部長 3月には市長選があるため、当初予算は骨格予算となる。6月補正において政策的経費を追加する。収納対策強化、普通財産の売却や活用、物件費の前年対比95%以下へ削減、委託料や扶助費の抑制などに努める。

人件費や物件費の削減、市税など自主財源の収納率向上等で増収に努める。

河西議員 10月20日、河川の増水による浸水・氾濫を想定した、広域的な図上訓練が実施された。内容と成果は。

総務部長 釜無川左岸の

決壊の危険、数千人の避難を想定。山梨大学が開

発したシステムを活用し、効率的な情報の伝達や共有化が図れるか訓練した。

分庁舎間および県や関係

空き家対策は

実効性ある方策を模索

A

Q

設楽 愛子 議員

機関との情報伝達、電子地図上での情報共有で、市民への災害支援を迅速に対応できることが検証された。

【関連質問】
▼名執義高議員

設楽議員 少子高齢化や独居者の増加で空き家が増えている。景観の悪化、不審者の侵入だけでなく、老朽化で倒壊や火災も心配される。

空き家の現状と実態調査への考えは。

「空き家住宅情報バンク」の構築は。

撤去、解体への助成措置は。地域活性化の施設への改修には工事費の補助を実施しては。

適正管理に対する条例制定は。

市長 20年度調査で、住宅総数の約15・1%、2、090戸が空き家。この内、一般住宅は420戸。発生要因の把握を始め、調査内容はどうあるべきか等、実施を含め検討する。

他の自治体や国の動向を注視・検討する。

先進事例を研究し検討したい。

農政観光部長 22年度、空き家バンク設置要綱を制定し、広報とホームページで提供者を募ったが、

登録希望はなかった。啓蒙に努めたい。

設楽議員 行政管理栄養士の配置は。減塩食の啓蒙と推進は。地域に密着した保健補導員サポーター制度の導入は。

市長 従来の臨時的な雇用の栄養士に加え、必要な体制整備を視野に入れて検討する。

保健福祉部長 生活習慣病、特に高血圧に減塩対策は不可欠。講習会、減塩レシピ推奨、食育など従来の取り組みを一層強化したい。

本市には健康づくりを目的とした、食生活改善推進委員会と愛育会がある。



危険な空き家

Q 災害対策は A 自主組織と連携して 取り組む

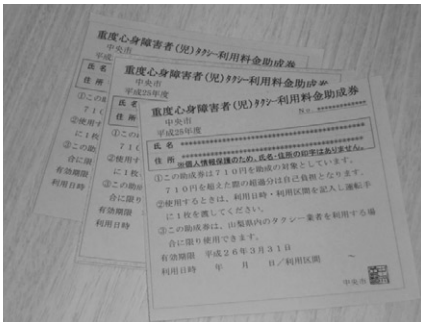
田中 輝美 議員

集い、養成講座を実施した。現在、防災士取得を目指し、市民3人が講義に参加している。防災訓練のテキスト配布、先進事例の紹介・資料提供等の支援を強化していく。38の自主防災会に資機材の整備補助を実施した。規定により今年度の7団体への補助金交付で終了する。

田中議員 近年の福祉タクシー利用状況は、

対象者の拡大、一人あたりの発行枚数の拡充は、市長 現在、県の補助要綱に対し、初乗り料金の上乗せと単独事業として、精神障がい者の1・2級を対象として拡大実施している。さらなる拡

自主防災組織の現状と支援体制は。資機材の備蓄補助金事業の継続は。総務部長 登録は1、109人。民生委員や自主防災会、消防団に名簿を配布。迅速に避難できる体制整備と信頼関係の構築が重要。総合防災訓練への対象者の参加拡充を図りたい。



福祉タクシー利用券

充についても、前向きに検討したい。
保健福祉部長 23年度は、141人の利用申請に各24枚を交付、利用率は36・6%、1,237枚。24年度は、132人の申

Q 貧困の連鎖を断つ 「子どもサポート」は A 県と連携し対策を講ずる

名執 義高 議員

名執議員 25年6月、子どもの貧困対策の推進に関する法律が成立した。学習機会に関する指標および経済的指標の調査と公表、改善に向けた施策が求められている。

本市の経済格差による就学状況や貧困率の状況は。

本市の子どもの貧困対策の実施計画は。就学援助を使いやすくする施策は。若者に対するサポートは。

請、利用率は35・4%、1,123枚。今年度は、124人に交付している。

【関連質問】
▼河西 茂議員
▼福田清美議員

親のDVや依存症などから子供たちを守る対策は。市長 貧困家庭に育つ子どもたちは、さまざまな困難に直面している。山梨県の貧困対策の実施計画を基に県と連携して貧困対策を実施していく。保健福祉部長 25年1月1日現在、17歳以下の貧困率は16・8%、ひとり親世帯は91・9%。市では若者の就労支援について、ハローワークや山梨労働局の支援策を活用している。また、就

労支援員の相談受付にも取り組んでいく。国は「若者雇用戦略」を策定し、社会全体で若者を支援する。市としても必要な支援体制を研究していく。中央市要保護児童対策地域協議会のネットワークを活用し、巡視・家庭訪問での見守りや支援を検討し、家庭が危険と判断された場合は、児童相談所への一時保護を依頼するなど、切れ目ない支援に努めている。

教育長 市の高校進学率は98・1%、要保護世帯および準要保護世帯では92・1%。大学進学率は確認できない。23年度の全県調査では、3人が経済的理由で高校を中退している。

小学校で8・4%の145人、中学校で9・9%の88人に就学費を援助している。支援を使いやすくするため、三者懇談等の機会を通じ対応している。

【関連質問】
▼河西 茂議員

Q

子ども・子育て
新システムは

A

質の高い保育を提供する

木下 友貴 議員

提案する。
市長 事前に関係者の意見を総合し交渉する。詳細調査を要求し、独自の対応策も検討する。現時点では難しい。走行時間が事前に分かってくる時点で検討したい。
木下議員 国は訪問介護と通所介護を市町村の支援事業に移管する方針。制度改悪に反対は。

市長 現時点で内容は不透明。動向を注視する。制度の持続可能性が最優先。反対は難しい。
木下議員 来年度から、支所数に依りて地方交付税が加算される。今後の財政運営への影響は。
総務部長 現時点で未知数。減収対策に努める。
【関連質問】
▼名執義高議員



保育のようす（豊富保育園）

木下議員 公立保育園の充実。児童保育の対象児童の6年生への引き上げは。
市長 幼保連携型認定子ども園等多様なニーズに依りていく。
保健福祉部長 年齢を引き上げても定員内で運営できると考えている。
木下議員 リニア路線が田富北小学校にかかっている。交渉の方針は。工事や走行時の騒音調査を実施すべきでは。実験線の見学ツアーを

総務教育常任委員会

審査ポイント

合併特例事業債の充当事業について

▼行政組織機構の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例制定
総務課

問 部制を廃止する4月以降の玉穂庁舎、豊富庁舎の庁舎管理者は。

答 玉穂庁舎、豊富庁舎に庁舎管理者を置く。

▼平成25年度一般会計補正予算（第4号）
危機管理室

問 防災士養成講座受講負担金、受講者3人の資格取得は。

答 県内68人が受講し48人が受験。結果は受験者に直接通知され、市は把握していない。

問 市内設置の雨量計と気象庁甲府気象台との関連は。

答 雨量計は田富庁舎屋上と関原コミュニティセンター横にある消防小屋に市が設置したもの。気象庁とは関連しない。

財政課

問 合併特例事業債の玉穂保育園アレルギー対策事業の内容は。

答 アレルギー疾患園児の受け入れを、玉穂保育園に一元化するための整備。

問 入園を希望しているアレルギー疾患の園児への対応は。

答 玉穂保育園のみで受け入れ、在園児は転園をお願いする。

厚生常任委員会

審査ポイント

保育園に通園している 食物アレルギー疾患の園児数は

▼平成25年度一般会計補正予算（第4号）

子育て支援課

問 市立6保育園に通園している食物アレルギー疾患の園児数は。

答 22人の園児が通園している。

問 玉穂保育園以外の通園児に玉穂保育園への転園を促すとしているが、通園の対応は従来の通園方法でお願いする。

環境課

問 浄化槽設置助成事業の補助限度額は。また、田富・玉穂地域の市街化調整区域に住宅新築の場合も助成対象か。

答 補助限度額は5人槽で33万2千円、6～7人槽で41万4千円、8人槽以上で54万8千円。田富・玉穂地域は助成対象外。

問 浄化槽設置助成事業は、豊富地域の農業集落排水に接続が困難な場合に助成対象。



食物アレルギーのパンフレット

田富・玉穂地域の市街化調整区域も、公共下水道が未整備のため助成対象になるのでは。

答 豊富地域は事業が完了。田富・玉穂地域は、全区域が公共下水道事業の整備区域で現在も整備中で、公共下水道への接続が原則。今後、流域下水道の全体計画の中で助成も検討する。

産業土木常任委員会

審査ポイント

東花輪川地区総事業費と今後の事業予定は

▼平成25年度一般会計補正予算（第4号）

建設課

問 優美堂前交差点改良工事の、設計や工事管理区分など県との協議は。

答 改良は冠水対策のためV S側溝の新設工事。設計では県発注の県道部分V S側溝工事が完了し、その基礎データ



完成した排水機場（大田和）

を活用した。県と市の工事管理区分は、道路幅員をもとに分けている。

農政課

問 東花輪川地区の1期目を含む総事業費一覧表の提出と、今後の事業予定は。県営湛水防除事業排水機場は完成し稼働可能か。

答 一覧表は後日提出。今回の補正要求は、シールド工法による工事箇所上流部に係る負担金。来年度に㈱ミツウロコ内を改修し事業完了。排水機場稼働は可能で25年度予算に費用を計上。

商工観光課

問 シルクふれんどりい指定管理料の、当初見込みとの差の原因は。

答 電気料金は、電力量料金の夏季が14円79銭から17円16銭に、その他季が13円69銭から16円6銭になった。下水道使用料の料金変更、水道使用料も料金の変更があり、増の原因。

委員会の取り組み

行政視察研修報告

総務教育常任委員会

日程 平成25年11月11日(月)～12日(火)

視察先 ・第1日 千葉県浦安市

災害時における要支援者の救護対策

・第2日 千葉県佐倉市

特色ある防災活動の取り組み(自主防災組織の活動)

第1日 浦安市

浦安市は東日本震災のとき発生した液状化等により、甚大な被害を受けました。過去



中志津自治会区長による説明

の被害も踏まえ「要援護者避難支援プラン」を作成し、積極的な取り組みを行っています。要支援者の範囲を身体障がい者、要介護者、高齢者等に定め、要援護者情報の収集等は機関共有、手上げ、同意等の3方式により行い、安否、避難支援等に活用しています。

第2日 佐倉市

佐倉市の中志津自治会6区および4区の区長が説明する災害時要援護者の取り組みに関心が集まりました。

6区は災害時要援護者避難体制が充実、活動状況をNHKが放映、また、消防科学総合センター理事長賞の受賞等先進的です。名簿登録はアンケート方式であり、自治会と個人が緊密です。

4区は災害時等要支援制度を制定し、「隣近所の底力」等を基本として支援活動を行い「援護・支援関係のメモ」「白い布」を会員に配布して独自の取り組みを行っています。

要援護者支援、自主防災活動等、また市と自主防災会との連携の重要性を再認識した研修となりました。

行政視察研修報告

厚生常任委員会

日程 平成25年11月7日(木)

視察先 長野県佐久市

「PPK(ピン・ピン・コロ)や健康づくりの取り組み、老人医療費削減(抑制)や今後の保健・医療・福祉」

佐久市が誕生した昭和36年当時、脳卒中死亡率は全国でもトップ水準であったが、一部屋暖房運動、減塩運動の展開、市立浅間総合病院と連携した健康事業の充実等を通して、予防と早期発見に努めた結果、大きく脳卒中死亡率を低下させることができた。

この保健活動は保健師と一緒に、住民の健康に対する意識の盛り上げを支えている住民の自発的なボランティア活動「保健補導員」である。

また、もう一つの特徴である食生活改善推進委員は、食生活の改善に絞った活動を行っている。こうした2つの住民組織と医療側の活動および佐久市が実施している53のメニューをそろえる高齢者対策事業が、健康



佐久市職員による説明

産業土木常任委員会

行政視察研修報告

日程 平成25年11月11日(月)～12日(火)
 視察先 ・第1日 岐阜県美濃市(特産品の地域活性化の取り組みについて)
 ・第2日 愛知県豊橋市(地域農業の活性化)

産業土木常任委員会では、11月11日と12日に岐阜県美濃市および愛知県豊橋市を訪問し、地域農業を軸とした地域活性化への取り組みについて研修を行いました。

美濃市では、食の安全・安心が求められる中、特色ある健康に良い農産物をブランド化し、地域経済の振興・地域の活性化・住民の健康につながると考え、市と包括協定を結ぶ岐阜大学で開発された新規野菜赤色アマランサスの産・学・官の協働による、ブランド野菜の生産と6次産業化への取り組みについて研修しました。

豊橋市では、全国有数の農業大産地の地位を維持しているものの担い手不足、遊休農地の増加など農業の衰退化が懸念されてきたことから、農業・農業関連企業・食品産業・研究機関・行政機関・その他異業種が連携し、生産技術・商品開発・ブランド化等、新しい価値の創造により地域農業の振興



ブランド野菜の説明を聞く(美濃市)

閉会中の常任委員会調査・研究報告

産業土木常任委員会

日程 平成25年11月7日(木)
 テーマ 田富よし原処理センターの現状と移管に向けた対応策について

早急に諸問題を解決され 公共下水道への接続を!

産業土木常任委員会では、長年の懸案事項となっている田富よし原処理センター施設への下水流入管渠の現状と移管に向けた今後の対応について、勉強会を開催しました。

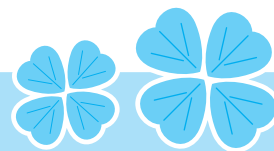
この施設は、昭和52年度より3企業と市の応分の負担により運営されてきています。供用開始から約32年経過しており、管渠からの不明水の流入や施設全体の老朽化などから、平成22年に市長から、よし原処理センター特別審議会に3企業所管の下水管の移管について諮問されました。平成23年2月には、地域住民の安全性と維持管理の面からも、管渠を市に移管することが適切であると答申されました。



田富よし原処理センターの勉強会のようす

しかし、いまだ方向性が見えていない状況から現状の説明を受け、委員会としても早急に諸問題を解決され、公共下水道への接続をすべきとの意見が出されました。

市議会を傍聴してみませんか



市議会は、年4回の定例会と必要に応じて臨時会が開かれます。
本会議には条例の制定や改廃、予算などが議案として提出され、提案説明や質疑などが行われた後、関係する常任委員会で審査し、再び本会議において討論、採決などを経て決定されます。
また、議員が市政に対する一般質問を行うものの本会議です。
議員の議会活動や市政の方針などを知る最も身近な方法です。
本会議の当日、議場傍聴席入口で住所・氏名を記入していただくだけで傍聴ができます。
なお、本会議の傍聴者定員は36人です。

市議会議員補欠選挙

欠員に伴う中央市議会議員補欠選挙は、3月16日(日)に告示、3月23日(日)が投票日です。
一人ひとりの意思を市政に反映させるため、貴重な一票を投じましょう。

平成26年3月定例会の予定

3月議会は、次のとおりの予定となります。お気軽に傍聴においでください。

2月25日(火) 午前10時	開会	3月 4日(火) 午前10時	一般質問
26日(水) 午前9時30分	総務教育常任委員会	6日(木) 午前9時30分	予算特別委員会
27日(木) 午前9時30分	厚生常任委員会	7日(金) 午前9時30分	予算特別委員会
28日(金) 午前9時30分	産業土木常任委員会	10日(月) 午前9時30分	予算特別委員会
3月 3日(月) 午前10時	一般質問	12日(水) 午後2時	閉会

日程等は定例会前の議会運営委員会で決定されます。変更される場合がありますのでご了承ください。

議会の動き

10月

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1日 中巨摩広域組合議会9月定例会 | 7日 厚生常任委員会行政視察研修 |
| 三郡衛生組合議会第2回定例会 | 11日 総務教育常任委員会視察研修(1日目) |
| 8日 大畠山外七字恩賜県有財産保護組合議会定例会 | 産業土木常任委員会視察研修(1日目) |
| 西日向外三山恩賜県有財産保護組合議会定例会 | 12日 総務教育常任委員会視察研修(2日目) |
| 10日 議会改革推進委員会 | 産業土木常任委員会視察研修(2日目) |
| 11日 山梨県市議会議長会定期総会 | 18日 中央市リニア活用推進懇話会 |
| 15日 議会広報編集委員会 | 20日 一般質問通告調整会議 |
| 3大まつり検討委員会 | 22日 議会改革推進委員会 |
| 21日 中央市戦没者慰霊祭 | 2市1町正副議長・事務局会議 |
| 25日 議会改革推進委員会 | 26日 峡中地区戦没者遺族大会 |
| 後期高齢者医療広域連合議会定例会 | |
| 31日 厚生常任委員会閉会中の勉強会 | |

11月

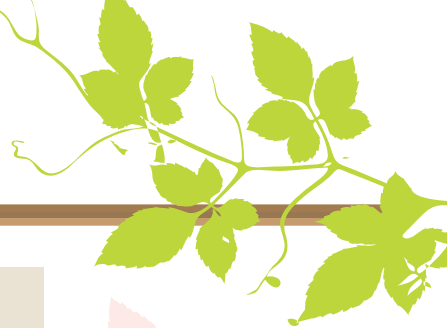
- 3日 稲穂まつり
- 5日 議会広報編集委員会
- 議会改革推進委員会先進地視察
- 6日 議会運営委員会
- 7日 産業土木常任委員会閉会中の勉強会

12月

- 3日 議会運営委員会
- 3大まつり検討委員会
- 10日 第4回定例会開会
- 20日 第4回定例会閉会
- 25日 三郡衛生組合議会第3回定例会
- 甲府地区広域行政事務組合議会12月定例会
- 26日 東八代広域行政事務組合議会定例会



市民の談話室



若宮
杉本 濱代



介護保険を利用して

中央市に移り住み4度目の正月を迎えました。今まで大病なく「一病息災」で過ごしてまいりました。美しい富士山が好きなだけ見え、買い物、乗り物、病院と便利な町で安心して過ごしてきました。

ところが、平成24年11月、夫が突然倒れ山梨医大病院に入院、約10日ほどで退院となりましたが、今までの生活は一変しました。

寝たきり状態で体を起こす、寝返りとすべて介助が必要で、私1人ではどうにもならず、玉穂庁舎の包括支援センターに連絡し、早速介護保険を利用することになりました。

調査委員が訪れ、認定が決まるまで少し時間がかかるが、できるだけ早くすると話され、3週間ほどで決定してケアマネージャーに連絡、介護に必要なリハビリ器具や入浴等手配し、12月より利用できました。

夫も、私も大助かりです。こんなにすばらしい保険をありがたく利用させていただいています。あれから1年、おかげさまで自力で杖歩行が50歩ほどできるようになり、車椅子で外出しバスに乗り、県立中央病院に行くまで回復しました。現在要介護3ですが、次は要支援目指してがんばります。



日井阿原
竹内 忠秀



新潟から山梨へ

仕事の関係で山梨の中央市に移住して、早いもので28年になります。

以来仕事とさまざまな用件で年に十数回故郷の新潟と山梨を行き来しています。

厳冬期の降雪の時期に、中央道と関越道を経由しての移動は大変だと思われがちですが、子どもころから雪国の生活に慣れているためか、雪道や踏み固まり凍結した路面の運転は、あまり苦になりません。しかし毎日の除雪が日課のようになっていたところに比べ、齢を重ねることの身体への負担を考えると、今の生活には安心感を覚えます。

その分新潟は、夏は過ごしやすく、山梨に移住した当初は、盆地特有の蒸し暑さには閉口しましたが、今では大分慣れてきました。

中央市は、近い将来のリニアの開通により一層の発展が期待できますが、反面自然環境の破壊や磁気による健康被害等、一抹の不安がぬぐい去れません。が、盆地のほぼ中央に位置し、豊かな水と自然環境に恵まれ、ショッピングセンターや医療・公共施設等も集散しており、生活する上での利便性は高く評価しております。

編集後記

木々が芽吹き始めると、里から眺めた春の山々は「山笑う」やわらかな色に染まります。

議員の役割は、市民の代弁者として市政運営のチェックをし、市民にとって大切な条例や請願を審議し、策定していく事にあります。

目指すべきは次世代に希望が持てる社会、子どもたちや弱者が一番大切にされる社会を作ること、そのために政治はあるべきと考えています。

市民の相談相手になって真心を尽くしたか。市民と付き合って嘘をついていないか。市民に自分が十

分理解できていないことを伝えたり、教えたりしていいか。毎日何回も自分の行いを反省するという曾子の言葉「吾日三省吾身」を胸に刻みながら、議会だよりの編集に取り組んでいます。

[名執義高]

議会広報
編集委員会

委員長	田中 輝美
副委員長	木下 友貴
委員	河西 茂 名執 義高
	小池 満男 福田 清美